

トラック運送業界とSDGs

第1回

持続可能なトラック運送業界の実現を目指して

運送事業者に求められるSDGsへの取り組み

「17色に彩られたマーク」あるいはその「ピンバッジ」などを目にするのがありませんか。これは「SDGs（エスディージーズ）カラーホール」と呼ばれるものです。このSDGsという文字も見える機会が増えているのではないのでしょうか。このSDGsとは「持続可能な世界を実現するための開発目標」を示したものです。実は、このSDGsは、トラック運送事業者にとって無関係のものではなく、既に多くのトラック運送事業者も何かしら取り組んでいるものなのです。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や燃料価格の高騰などに影響された1年でした。加えて、2024年問題へ向けた労働条件の改善やドライバー確保にも更なる対応が求められています。トラック運送事業者においては、まさにSDGs「持続可能な事業経営」が重要な経営課題であることは間違いないでしょう。

そこで「広報としく」では、このSDGsとトラック運送業界の関わり方などについて、今号から数回にわたって特集していきます。

SDGsとは何か

2030年までの達成を目指す持続可能な開発目標「17のゴール」と「169のターゲット」

まず「SDGsとは何から理解しましょう。」地球上の誰一人取り残さない！。SDGs Sustainable Development

環境問題や働き方改革など

トラックの身近な経営課題に關係

トラック運送業界とSDGsの関わり

(Goals) とは「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。2015年9月の国連サミットにおいて、加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されたものです。

この背景には、貧困や紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇など人類がこれまでになかったような数多くの課題に直面しており、このままでは人類が安定してこの世界で暮らす続けることができなくなってしまう、と言われていることが挙げられます。

そのような危機感から、課題を整理し解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標として「17のゴール・169のターゲット」が設定されています。

SDGsは「持続可能な世界」を実現するためのいわば「ナビ」のようなものです。国際機関や政府、企業、学術機関、市民生活、子どもも含めた全ての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。

発展途上国のみならず、先進国も進んで取り組むユニバーサル（普遍的）な目標であり、日本政府としても積極的に取り組んでいます。

そのSDGsのゴールとしては、「目標1…貧困」から、「目標17…実施手段」まで、17の目標のマークおよび表を参照してください。

つたり、義務教育からSDGsを学んだ若年層が、SDGsに取り組む事業者を優先的な就職先とするなどの動きもみられます。また、ドライバ不足問題への対応がますます重要となる中で、若年層から就職先として選択されないようでは困ります。まさにトラククル運送事業の企業経営においても、SDGsの指し示す「持続可能性」を考えずにはいられない状況にあるといえましよう。

トラクル運送事業の現

監修：(株)NX 総合研究所
(株)日通総合研究所から社名変更)

持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

目標1	貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
目標2	飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標3	保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標4	教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
目標5	ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う
目標6	水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標7	エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
目標8	経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
目標9	インフラ、産業化、イノベーション	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
目標10	不平等	国内及び各国間の不平等を是正する
目標11	持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
目標12	持続可能な消費と生産	持続可能な消費生産形態を確保する
目標13	気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標14	海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標15	陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
目標16	平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標17	実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

外務省作成パンフレット「持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組」より

SDGsへの取り組みとは、地球温暖化、気候変動、生物多様性、海洋汚染への対応など、地球全体での環境問題や、開発途上国における貧困・食料問題など世界的な課題への対応、貢献のことです。

このように大きな社会課題であれば、国や大企業が取り組むもので、特に中小企業が大半を占めるトラック運送事業者では、自社の問題としてイメージできていない企業はまだまだ多くはないと考えられます。

しかし、環境問題や働き方改革などトラック運送事業に身近な経営課題への取り組みは、その多くがSDGsの掲げるゴールに向けたものといえます。

トラック運送事業では、既に二酸化炭素(CO₂)の削減など環境問題に寄与する取り組みを実施しており、今後もトラック運送事業が社会的に大きな役割を果たしていくという重要性は理解されているのではないのでしょうか。一方で、消費者や取引先は、地球環境をはじめとする課題への認識が十分でない事業者との取引引きを避けるようにな

り組めるものなのです。

その一方で、長期的には、経営の強化や事業の持続性に繋がり、結果として会社の利益や経営にプラスになる可能性もあるという点も忘れないでください。

このように「SDGsは身近なもの」と捉え、事業発展のためにも経営に活用すべきと考えられます。

大型トラックをさらに進化させる、
先進の技術。



HINO
PROFIA
Hybrid

日野自動車株式会社
www.hino.co.jp



SDGsへの取り組みステップ

まずは理解することからスタート
5つのステップで順に行動を

具体的なSDGsへの取り組みに向けては、次の5つのステップで取り組む。最初のステップは、SDGsの「解決すべき課題・目標」を理解すること。

- ステップ1: SDGsを理解する
- ステップ2: 自社の事業の中でSDGsへの貢献にあたる取り組みを探す。または、自社で取り組む優先課題を決定する
- ステップ3: 目標を具体的に設定する
- ステップ4: 実際に事業にあてはめて行動を開始する
- ステップ5: SDGsに取り組んだ事項の報告とそれについてコミュニケーションを行う

トラック運送業界(事業者)として何をすべきか

運送事業者としての具体的な取り組み
物流活動の持続自体が大きく関係

それでは、トラック運送事業者として、具体的にどのような取り組みが考えられるでしょうか。また、どのような取り組みを実施すべきで

取組例 クリーンエネルギーへの転換
(環境への負荷が少ない車両の導入)

- 7 エネルギーを効率的に利用する
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を

「グリーンエネルギー」への転換(環境への負荷が少ない車両の導入)は、既に中小のトラック運送事業者でも環境基準に達した車両の導入が当たり前になっています。今後、これは言うまでもなくSDGsの17のゴールのうち、「目標7: エネルギー」や「目標13: 気候変動」に相当するもの

取組例 働き方改革
(労働時間短縮、賃金アップ、手荷役の削減)

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 5 ジェンダー平等を實現しよう
- 8 働きがいも経済成長も
- 12 つくる責任 つかう責任

現在、トラック運送業界では、ドライバー不足問題や、2024年問題への対応に向けた働き方改革への取り組みが必須

の中でも自社が重視している取り組み優先課題を「経営改善」の視点で整理して、その優先課題に対して、ステップ3では、具体的に行動・実行に移すための目標を設定します。そしてステップ4で行動を開始し、ステップ5では、社内での成果の報告と共有、さらには荷主(取引先)に対してSDGsの取り組みについて話題にするなどのコミュニケーションを活用することで、新たなビジネスチャンスと事業経営の持続性に繋がるものと考えられます。

取組例 モーダルシフト

- 7 エネルギーを効率的に利用する
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 13 気候変動に具体的な対策を

モーダルシフトも、CO₂排出削減(目標7: エネルギー)や「目標13: 気候変動」に相当するものと考えられます。また、地球温暖化対策としてのCO₂排出削減への取り組みも「目標7: エネルギー」や「目標13: 気候変動」に相当するものと考えられます。

取組例 環境負荷のより少ない資材の使用

- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう

SDGsは中小事業者でも「できること」
社会や荷主からの価値と信頼性の高まり
SDGsに取り組むメリットの一つに

ここで取り上げたSDGsへの事例は、ほんの一部に過ぎません。例えば女性活用は「目標5: ジェンダー」に相当するものと考えられます。

トラックの車体にSDGsへの取り組みを宣言している運送事業者もあれば、道徳運送(北海道)

れも「目標12: 持続可能な消費と生産」に相当する取り組みです。また、紙パッケージ商の取り組みとなり、エコパ

取組例 ソーラーパネルの設置など
再生可能エネルギーの利用

- 7 エネルギーを効率的に利用する
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を

倉庫の広い屋根にソーラーパネルを設置して再生可能エネルギーを利用したり、屋根の塗料に断熱性の高いものを使用し

取組例 ペーパーレス化やDXの推進

- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を

資源の保護や廃棄物の削減(目標12: 持続可能な消費と生産)や「目標13: 気候変動」に相当するものと考えられます。

トラック運送事業者、特に中小事業者においてもSDGsは「できること」なものです。SDGsへの取り組みにより、社会や荷主から業界や事業者が評価され、信頼が高まり、これはトラック運送事業者の大きなメリットの一つです。

飲酒運転を絶対にしない! させない!

超高精度にアルコールを検知!

アルコールチェッカー直吹き式

品番 1123000000 価格 5,757円 (税込6,333円) 赤ランプ点灯

型式 PAC30 使用回数表示機能

●二日酔い・奈良漬も検出。
●呼気アルコール濃度を0.01mg/Lから検出。
●アルコールを検出すると赤ランプ点灯+警告ブザー(15秒間)で知らせます。
●ストローで息を吹きかけると、超高精度に測定可能。

●電源電圧: DC3V(単4形乾電池2本)
●検知方式: 半導体ガスセンサー
●測定値: 0.00~0.25mg/L(0.01mg/L単位)
●使用回数表示機能(3,000回使用可)
●サイズ: 巾50.3×長さ118.6×厚み18.8mm(全高31.7mm)
●バックライト: 2色(アルコールを検出すると緑色→赤色に点灯)
●付属品: テスト用単4形乾電池2本、ストラップ
ストロー(φ6×100mm)10本 φ6mm、又はφ7.5mmの市販品使用可
●自重: 0.085kg(電池含む)

●3,000回使用後は、当社に直接「元払い」返却ください。
4,378円(税込)にて、新品を元払い交換
※ご返却の前に必ずご連絡をお願いします。

●本機は運転の可否を判断するものではありません。
●アルコール成分以外の酸化炭素、揮発成分、化学物質等に反応する事があります。
●損害等は一切負えませんのでご注意ください。
●3,000回使用後も、カウントが続き測定可能ですが、測定精度が保証できなくなります。

簡単! 便利! 無料!

徹底したドライバー点呼と正確なアルコールチェックをウェブサイトで一元管理

アルコールチェッカー点呼システム お手軽にご利用 会員登録は無料 即開始

創業1965年 株式会社 パーマンコーポレーション E-mail: hr1@pa-man.com 〒550-0021 大阪市西区川口4-1-15 ☎ご注文電話 0120-202-800 ☎ご注文FAX 0120-200-201 年中24時間受付

信頼の3年保証 品質マネジメントシステムに準拠 ISO9001取得 ISO9001:2015 商品の詳細は当社ホームページ、又はカタログをご覧ください。 新商品情報、セールのお知らせなど最新情報満載! LINE ID: @pa-man 友だち追加 https://pa-man.shop/ Twitter @PaMan2017 フォロワーお願いします

クラウドだからできること 8

デジタコが「今すぐ」を変える。

今すぐ、最適ルートを知りたい。
今すぐ、車両位置を確認したい。
今すぐ、対面点呼したい。

処理スピードを高め、クラウドで「今すぐ」知りたい情報を瞬時にお見せします。

- 商用車対応ナビゲーションを標準搭載
- デジタルカメラとアナログカメラを最大6台接続
- 動態管理でき、雨雲マップやVICSもチェック
- 労務管理オプションで効率的な安全管理

クラウド型運行支援サービス ITP-WebService V3 月額2,980円(税別)/台 *デジタコ本体の費用は別途必要です。 最初の機能はこちら

GOOD DESIGN 1 賞 受賞

株式会社 トランストロン 情報サービス営業部 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目15番地16 新横浜ビル https://www.transtron.com/itp/index.html

TEL.045-476-4640 FAX (045)476-5024